

## アザミウマ類



アザミウマ類による葉  
のケロイド症状



葉の伸長に伴い奇形化する

### 【見分け方（被害と発生生態）】

茎葉にほとんど被害は現れないが、花弁の加害による白斑状の被害が問題となる。花蕾の先端が開き始めた頃に花心に潜り込み加害する。このため開花しなかったり、開花しても内側の花弁に白色の小斑点が無数に生じる。被害が激しいときはすじ状に白色の被害斑が連なることがあり、商品価値が著しく損なわれる。ハウスやその周辺に自生する雑草が発生源となりやすい。

近年、アザミウマ媒介によるウイルス病の発生が県内広域で見られ、ウイルス病防除のためにもアザミウマ類の防除は重要である。特にウイルスを保毒したアザミウマ類が施設内で越冬すると、翌年の作型にも被害をもたらすので防除を徹底する（INSV、TSWV）。